

平成二十九年年度

富山大学人文学部

帰国生徒入試・社会人入試

小論文

実施年月日
28.11.30
富山大学

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 二 問題用紙は全部で三枚（表紙を含む）、解答用紙は二枚、下書き用紙は二枚です。試験開始の合図があつてから確認してください。
なお、文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、汚れなどがあつた場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
- 三 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 四 解答はすべて解答用紙に記入してください。指定された解答用紙以外に記入した解答は、評価（採点）の対象とはしません。
- 五 問題用紙および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。

次の文章は、二〇一一年三月十一日に発生した東日本大震災の約二カ月後に書かれたものです。この文章を読み、問いに答えなさい。

(引用文には一部書き改めた箇所があります。)

著作物引用箇所のため非公開

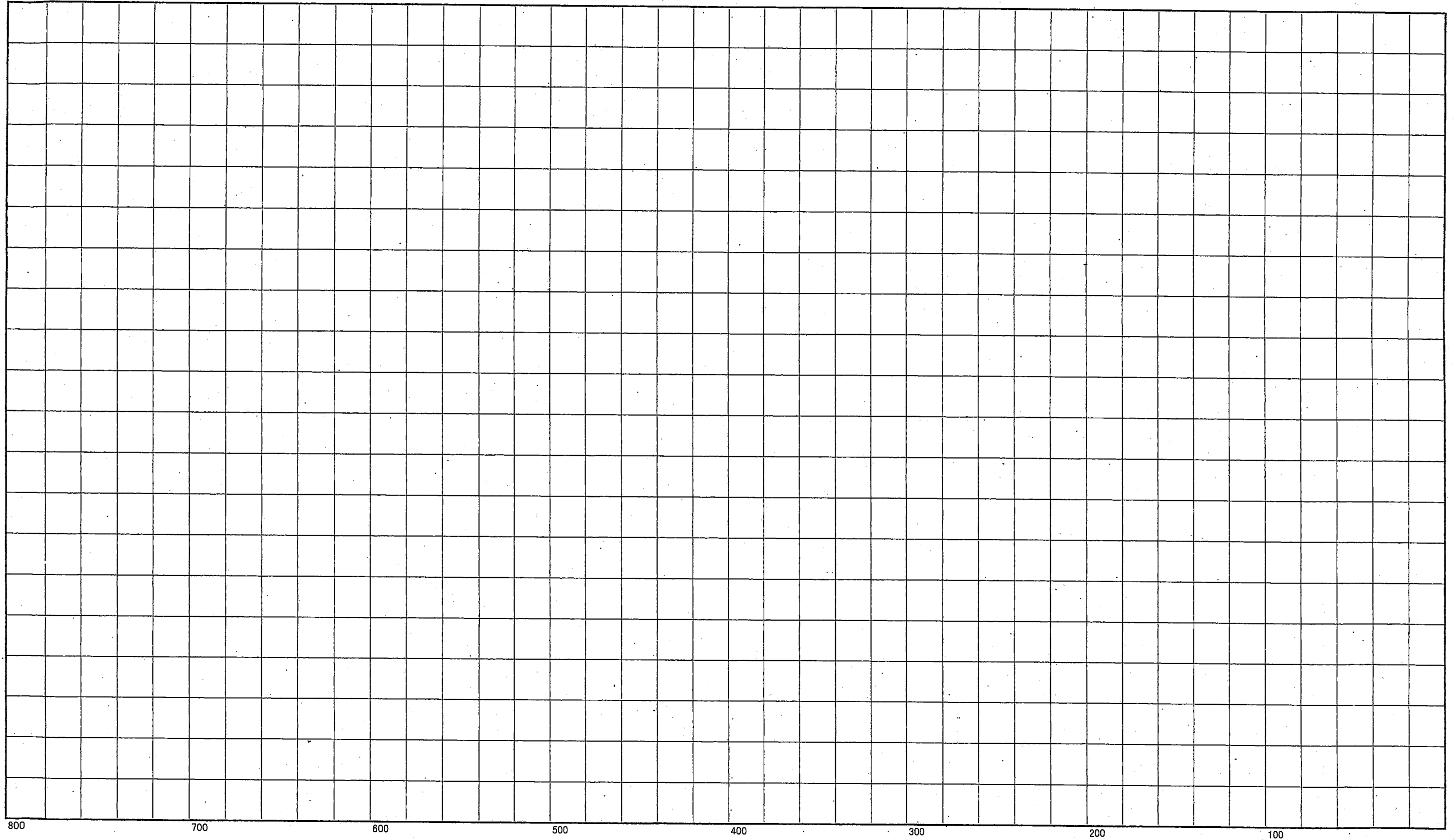
著作物引用箇所のため非公開

(中島義道『反(絆)論』ちくま新書、二〇一四年。二〇一一年五月十七日『東京新聞』夕刊掲載。)

問一 傍線部にある「繊細な精神」と「幾何学的精神」とは、どのようなことを指しているのか、二〇〇字以内で説明しなさい。

問二 「美談が覆う真実もある」という筆者の主張をどう思うか、あなたの考えを八〇〇字以内で述べなさい。

下書き用紙(これは解答用紙ではありません。)



下書き用紙(これは解答用紙ではありません。)

